

## 平成 17 年度 豊橋技術科学大学同窓会役員会議事録

日時：平成 17 年 4 月 23 日（土）15：00～17：00

場所：C 棟 2 階会議室（C-204 号室）

**出席者：**後藤会長（INAX）、佐藤副会長（5 系）、感本、山本（1 系）、赤堀、戸高、安部（2 系）、稲田、村上、桶、内海（3 系）、福田、武田（4 系）、谷、中澤、細田（6 系）、加藤、山田（7 系）、南、小口（8 系）

### 平成 16 年度活動報告

#### 会報編集

- (1) 4 系福田先生より、同窓会報（No.22）の発行（9000 部）に関する報告があった。前年度版から頁数および印刷部数の変更がなかったため印刷代金は 700,000 円となった。
- (2) 某会社（結婚紹介所）より同窓会報への広告掲載依頼があったと 6 系細田先生より報告があった。信頼できる会社かどうか細田先生の方で調査を行い、1 系役員に連絡することになった。また、平成 17 年度より同窓会報へ掲載する広告を募集することが決定された。

#### 名簿管理

- (1) 5 系佐藤先生より、各系から最新の名簿データと記録用 CD-R を回収して、全系分のデータを更新・記録した CD-R を返送したとの説明があった。
- (2) 補足として 7 系加藤先生より、保管していた同窓会名簿の冊子最新版は既に処分済みと説明があった。

#### 援助活動

- (1) 2 系赤堀先生より、クラブ活動団体（ラグビー部、ロボコン同好会、武道部、吹奏楽部、軽音楽部、軟式野球部の 6 団体）に対して計 30 万円の援助活動を行ったことが報告された。

#### HP・メール管理

- (1) 8 系南先生より、HP およびメールの管理運営状況について報告があった。

#### 事務局

- (1) 6 系細田先生より、平成 16 年度の活動報告および業務一覧に関して報告があった。
- (2) 西永学長、松為副学長との懇親会（7 月 15 日）には後藤会長、佐藤副会長、細田先生の 3 名が出席した。フォーラムイン東京への協力、名簿把握率、30 周年記念事業への協力に関して議論した。
- (3) これに付随して、臨時役員会（7 月 15 日）を行った。フォーラムイン東京に合わせて、同窓生更新会を企画することを決定した。
- (4) フォーラムイン東京を平成 17 年 1 月 21 日に実施した。これに関して大学側から謝意を得た。

#### 会計

- (1) 1 系山本先生より、平成 16 年度の予算執行状況の報告があった。収入欄の会費が例年と比較して少ない点について、平成 17 年 4 月 1 日以降の振込分が含まれていないためと説明があった。平成 17 年度の予算案の会費収入にこの不足分は計上することが確認された。

## 平成 17 年度活動計画

各系の役割分担について、1系：会報編集，2系：総会・役員会，3系：名簿管理，4系：援助活動，5系：HP・メール管理，6系：会計，7・8系：事務局が担当することとした。

援助活動担当の4系役員については、30周年記念事業に関する大学側との協議も担当する（協議会に関しては事務局担当（7・8系）から4系役員に連絡）。

### 会報編集

- (1) 本年度も前年度と同様に同窓会報（No.23）を作成することが報告された。発送時期は12月を予定し、発行部数は9000部で発注することが決定された。発送作業にかかわる業務は前年度と同様、各系で担当することとなった。
- (2) 原稿執筆者への謝礼に関して、同窓会名誉顧問である学長への謝礼は今年度より行なわないこととなった。
- (3) 広告掲載に伴うページ増により、現状の広告掲載料（1ページ5万円，0.5ページ3万円）で赤字にならないかどうか、1系役員が調査することになった。
- (4) 会報への広告募集通知は同窓会HPにて行うことになった。

### 名簿管理

- (1) 前年度と同様、本年度も各系より更新済み最新名簿データと記録用CD-Rを回収し、全系分の更新データを記録用CD-Rに記録する予定である。全系役員へのアナウンスは9月、データおよびCD-Rの回収期限は10月を予定している。
- (2) 大学側との名簿データ情報の共有に関して、現在大学側にて検討中である。詳細が確定してきた時点で、大学側と適宜協議を進めていく。

### 援助活動

- (1) クラブ活動援助については昨年同様に公募とすることが確認された。
- (2) 卒業記念パーティーは大学と同窓会の共催となっており、学生援助活動とは本質的に異なる。本年度より、学友会からの依頼書は受領せずに、時期が来たら事務局から会計担当に直接依頼して振り込むことになった（援助活動担当業務から外す）。

### HP・メール管理

- (1) 本年度は担当（5系役員）よりパスワード、ログインID等の情報を各系役員代表者に通知し、系内のコンテンツは系ごとに独自に更新していくことになった（他系のコンテンツは当然改変禁止）。これに付随して、各系のコンテンツを頻繁に更新していくよう後藤会長より指摘があった。
- (2) その他の業務（系内コンテンツ以外、メーリングリストの更新等は）は、前年度と同様に行う。

### 事務局

- (1) 前年度に行った業務に加えて、卒業記念パーティーの共催に関する作業（前年度は援助活動が担当）を行うことが確認された。
- (2) 30周年記念事業に関して、大学側からの連絡事項を援助活動担当（4系）に連絡する

ことが確認された。

## 会計

- (1) 本年度予算案について説明があった。各系の活動予定などを考慮して、収入欄の入会金および会費、支出欄の各系への配分金、支出欄への同窓会懇親会経費(250,000円)の計上について修正を行い、全役員宛に配布することになった(既に配布済)。

## その他

### 西永学長との懇談会について

- (1) 西永学長との懇談会(後藤会長、佐藤副会長、6系細田先生、7系加藤先生が参加)について、報告があった。議題は以下の通り(詳細は7系加藤先生作成の懇談会議事録を参考)。
  - ・ 同窓会の活性化について
  - ・ 同窓生への終身メールアドレスの発行について
  - ・ 大学と同窓会との名簿情報の共同管理について
  - ・ 平成18年度予定の開学30周年記念事業について
  - ・ その他(Dr学生への奨学金制度の設立など)

### 同窓生への終身メールアドレスの発行について

- (1) 終身メールアドレスの発行に関して、現在具体案を大学側で検討中であるということが後藤会長から報告された。大学側のニーズとしては、アンケート実施、住所情報の把握、等が挙げられる。
- (2) これに関して、同窓会側から担当役員を選出して欲しいという要望があった。6系細田先生、中澤先生、8系小口先生が大学側と協議することになった。
- (3) 同窓会として使用しやすいシステムの提案を行い、もし出来たら同窓生へのアナウンスは同窓会報にて行うこととなった。

### 30周年記念事業への協力について

大学側からは、クラブ活動活性化のために、グラウンドの夜間照明設備の設置(2基、700万程度、不足分は大学側が出資)という提案が出ている。役員の中で他の案があれば、メールで通知して議論することになった。また、寄付金の目標額は700万円ということで活動を進めていくことになった。

### 同窓会で使用する居室について

学長から同窓会で使用する居室が必要かどうか問い合わせを頂いた。現状では居室は不要である。ただし、同窓会資料の収納スペース程度の部屋があると助かるということ伝えることになった。

### 次期同窓会長について

1系の系内同窓会委員長に任期2年ということで打診することになった(担当:感本役員)。